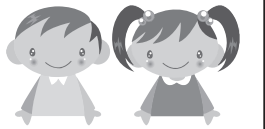


～お父さん・お母さんに読んで頂きたい、こどもに関する情報です～

育脳寺子屋通信



「読み・書き・そろばん」と「育脳」の育脳寺子屋

育脳のゴールとは、脳の持てる力を存分に発揮し、社会の中で活躍して充実した人生を送る「子どもを育てる」ことにあります。

※脳医学の権威である日本大学医学部林成之教授が出版された「子どもの才能は3歳、7歳、10歳で決まる」の著書より「育脳」についての記述を引用

「育脳」と「育脳トライアル」

「あの人は優秀だ」と言われる人は、みな好奇心旺盛、探究心を持っています。色々な物事に興味を持ち、好きになり、感動する力を育てています。それが理解・思考・記憶といった脳の機能を高めます。(林教授)

「育脳トライアル」は子どもたちの好奇心や探究心を刺激します。

育脳トライアルに取り組み子ども達は、やらされてやっているとありません。自分から「やってやろう」と、つまり自主性、主体性を持ってやっています。

自主自立の気持ちを持った結果、「育脳寺子屋」に通うようになってから宿題をやれと言わなくてもやるようになった。「学校に行き準備も自らやるようになった」などの感謝の声を保護者からいただいています。

「勉強しなさい」「しなさい」という言葉は、逆に子どもの脳の機能を低下させ、拒絶反応を招くことになってしまっただけなのです。子ども達は「しなさい」と言わなくても自分で考え、決定し、行動を起こすことが出来ます。

また、子どもたちの自主性・主体性を育てるのに、育脳寺子屋の授業形態も、大きく寄与しています。

小学1年生でも「これしなさい」「あれしなさい」と指示しません。何からやるのかを自分で決めさせているからです。

自分で決めて取り組むということは、やらされてやっているとはいけません。

自己報酬神経群が発達してくると、自我が育ち、主体性を持って報酬を得たい、自ら達成したいという気持ちを持つようになってきます。(林教授)

だから、「しなさい」「しなさい」はダメですが、「どんな風に取り組みたい?」「しなさい?」「しなさい?」はOKです。

も一つ、子どもが才能を発揮できるように

育脳トライアルプリント 金種の推理

前のように下の金額になるお金の組み合わせを書き入れよう

【使用するお金の種類】

100円	50円	10円
5円	2円	1円

例

100円	100円	100円
10円	5円	2円
17円	123円	200円

育脳トライアルプリント お買い物

前のように財布の中のお金で買える物の組み合わせは?

例

1 アイウエカ 2 アイウエカ 3 アイウエカ

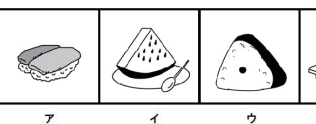
121円 215円

お買物のメニュー

ア	イ	ウ	エ	オ	カ
10円	15円	20円	30円	35円	40円
キ	ク	ケ	コ	サ	シ
50円	55円	70円	80円	105円	120円

答えが一つでない問題として、話の順序、創作対話、文の欠所補充、漢字や文字遊びなどの言語分野、などがあります。下記は小学校低学年レベルの問題です。

【4】なかまはずれはどれかな? ○をつけてね



【参考解答】
イ 理由：これだけご飯ではないから
その他の解答
ア 理由：これだけ形が三角ではないからなど。

あなたも問題に挑戦!! ○にはどんな文字が入るかな?

① あ○○ん ② た○○ん ③ か○○ん ④ さ○○ん
あなたは10秒間で、それぞれいくつ思いつきますか??

幼児、小1からの入塾をお勧めしているのは、「楽しい授業」を通して

この空間認知を鍛えるために、「育脳トライアル」では「点描写」を2ページ毎に取り入れてあります。また、「点描写」だけでなく、例えば「積み木の数や見え方」「ロープの結び目」「展開図」「風の向き」なども空間認知を鍛えることを意図して数多く出題しています。大切な空間認知が学校教育でも家庭教育でも意識的に鍛えられることが少ないと感じているからです。

初めて点描写に取り組んだ子の中にはまったく斜めの線を描けない子もいますし、全く違うものを描いている子もいます。これは空間の中の位置や形などが認識できていないのです。

また運動的空間認知を高めるためには姿勢を正しく保つことが大切ですので、点描写のタイムには描くだけでなく、背筋を伸ばして取り組むことを習慣付けています。

思考的空間認知を高めるために、日本昔話をただ単に読むだけでなく、ストーリーの先を考えさせる質問も子ども達に投げかけています。

学年が上がるにつれて、子ども達は否定的な言葉をよく使います。「無理」「分からない」「出来ない」という言葉を発してよい結果を出さずには出来ません。だからこそ、このような悪い習慣を小さいうちに取っ払ってしまいたいのです。

このような育脳の基本となる方法を、早い時期から取り組むことの必要性を感じており、より早くからの取り組みが望ましいと考えています。

□何事にも興味を持ち、好きになる力をつける
□人の話を感動して聞く
□損得を抜きにして全力投球する素直な心を育てる
□無理、大変、出来ないなど否定的なことを言わない
□大体分かったなど物事を中途半端にしない
□自分のミスや失敗を認める
□人を尊敬する力をつける
□類似問題で判断力を磨く (林教授)

こたえは
ひとつじゃ
ないよ～

日本の教育と世界の教育

日本	世界
正解はいつも一つ	正解は決して一つではない
記憶力偏重	問題を解く為の枠組みや理論を学ぶ
一方通行 (先生が一方的に教えるスタイル)	生徒同士が対話や理論を通じて結論を発展 先生が教えるばかりではない

外国では博識だけでは評価されない。オリジナルな分析と解釈+自分の意見を明確な言葉で説明

一つの答えを探す教育

左の図が示すように、日本は暗記型・受身の学習方法なのに対し、他の国々ではディベートや対話中心の『参加型』学習方法です。この違いはとても大きな差を生みだします。

就活を終えたある大学生が書いた新聞記事がありました。その内容は・・・

『私は運よく内定を得たが、就活を振り返ると、とにかく不安な気持ちでいっぱいだった。』

学校にいた頃は答案用紙に「用意された答え」を正しく埋めるだけで良かった。いつも誰かが「正解」を用意しており、自分なりの「最適な解答」を見つかることなど求められていなかった。

そんな中、就活で急に「何が出来て、どうしたい?」と問われて戸惑った。社会における自分の役割について考える機会など、ほとんどなかったからだ。』

日本の若者の現状

ある調査機関が一般企業を対象にした調査結果では、大学の新卒者を10人採用して使い物になるのはたった1人だということです。最近の若者の傾向としては、

□指示をされないと動けない
□指示をされてもやり方を教えてもらわなければならない
□わからないことは考えずにすぐに答えを聞くとする

しかし、これは若者が悪いのではなく、先述のように日本の教育方法が悪いのです。

学生時代には学校や塾で「これをやっておいたら点が取れるよ」と試験のポイントを教わってもらったり、要点をまとめたプリントを毎回もらって、いい点数を取る。こんなことを繰り返してきたのに、社会人になって急に「自分で考えて動け!」と言われたら誰だって戸惑うでしょう。

社会には「用意された答え」はありませんし、手取り足とり教えてくれる人もいません。何より

初めから答えのない問題・課題がほとんどです。だから、子供のころから「自ら考え、行動する」ことが大切なのです。

きょうのろんご

老子曰く、「授人以魚不如授人以漁」

【大意】
ある人に魚を一匹与えれば、その人は一日食べられる。しかし、魚の取り方を教えれば、その人は一生食べられる。

(これが育脳寺子屋の教育理念です)